まちづくりの方向性	戦略的行政運営
重点的方針	4-2 町民とともにある自治体運営の推進と職員能力の向上
概要	町民による主体的なまちづくり活動を促進するため、町民がまちづくりに関心を持てるよう、的確で効果的な情報発信に努めるとともに、二宮町町民参加活動推進条例に基づいた団体相互の情報共有や活動環境の整備など、自主的な活動を側面から支援することで、町民力を生かした自治体運営を推進します。 行政職員には、二宮町をより良いまちにしていくための政策形成・政策遂行能力のほか、町民に的確に説明する力や意見を聞き取る力といったコミュニケーション能力などが求められることから、職員研修等を通じた職員能力の向上を図るほか、町民参画の場や行政と町民とが連携して取り組む活動の場などを通じて、町民とともに考え、行動する意識を常に持った職員の育成を図ります。

No.	関連する予算等事業名	トータルコスト(千円)			庁内評価(2次評価)		
		R1	R 2	R 3	R1	R 2	R 3
1	広報活動事業	12,299	11,995	11,569	良好·維持	良好·維持	良好·拡大
2	情報公開関係経費	889	807	817	良好·維持	良好·維持	良好·維持
3	にのみやLifeプロモーション事業	3,598	2,515	2,435	適当·維持	適当·維持	良好·維持
4	まちづくり移動町長室の実施	1,084	437	432	適当·要改善	不良·要改善	適当·要改善
5	職員育成推進事業	1,024	1,867	1,951	良好·維持	適当·維持	適当·維持
6	人事評価制度導入事業	228	727	248	適当·維持	適当·要改善	適当·維持
	合計		18,348	17,452			

○情報公開制度に基づいた適正な制度運用に努めた。

〇コロナ禍での制限があったが、独自研修は予定通り、市町村研修センターの研修は規模を縮小しながら実施され、職員 育成に努めることができた。

成果(○)

○人事評価制度の見直しの検討に着手した。

課題等(●)

- ○広報紙の内容の充実を図ることができた。
- ○オンライン移住相談会を毎月開催したほか、県セミナー等にも参加し、移住相談を行った。
- ●個人情報保護制度は、国の法律改正に基づき町の制度も適正に改正する必要がある。
- ●移動町長室は、コロナ禍で、規模を縮小しての開催となった。

分析										
分析の視点	高い	—		\Longrightarrow	低い					
力が砂洗紙	5	4	3	2	1	妥当性				
妥当性						時代即応性 10 有効性				
有効性										
効率性										
時代即応性						効率性				

%1次評価「A:十分な成果があった」「B:一定の成果があった」「C:あまり成果がなかった」「D:成果が得られなかった」

総合評価(評価・理由等) コロナ禍においても、職員研修の開催方法を工夫し、研修を実施できたことは評価できる。人事評価制度については、職員の意見も聞きながら見直しを進める必要がある。 町民がまちづくりに関心を持てるよう、的確で効果的な情報発信に努めるとともに、二宮町町民参加活動推進条例に基づいた団体相互の情報共有や活動環境の整備など、自主的な活動を側面から支援した。

町の最終方針(今後の方向性)						
継続推進	 ・今後も継続してオンライン等を活用した研修を実施することで、より多くの職員が参加できる環境を維持することで、職員の知識や技術の向上を図る。 ・参加者から好評をいただいているオンライン移住相談会のように、町民だけでなく町外に対しても効果的な情報発信の手法を継続して検討する。 ・コロナ禍により、町民が直接町への要望できる場が減っていることから、移動町長室などの開催方法の検討を進める。 					